

**デートDVは、10代からはじまっています**  
**ひとりで悩まないで、相談してください。秘密は守られます**

## 相談窓口

### 西宮市

#### ■ウェブ女性のための相談室

電話相談 月・木/10:00~16:00/一人一回につき40分程度  
0798-64-9499

面接相談 要予約/火・水・土/10:00~15:00/  
一人一回につき50分

法律相談 要予約/第3金/14:00~17:00/一人一回30分  
※面接・法律相談予約 0798-64-9498 (月~土/9:00~17:00)

■婦人相談 0798-35-3166 (月~金/9:00~17:30)

■DV相談 0798-36-0393 (火・水/10:00~15:00)

■兵庫県立女性家庭センター (配偶者暴力相談支援センター)  
078-732-7700 (9:00~21:00)

■外国人県民インフォメーションセンター  
生活全般に関する相談…英語・中国語・ポルトガル語・スペイン語  
078-382-2052 (月~金/9:00~17:00)

- 女性のための「全国共通DVホットライン」 0120-956-080 (月~土/10:00~15:00)
- W・Sひょうご 078-251-9901 (木/12:00~17:00)
- フェミニストカウンセリング神戸 078-360-5030 (月/13:00~16:00)
- ウィメンズネット・こうべ 078-731-0324 (月・火・水・金/10:00~16:00)
- ウィメンズセンター大阪 06-6632-7012 (木/13:00~20:00)

**暴力は犯罪です。迷わず110番してください。**

参考資料:「傷ついたあなたへ わたしがわたしを大切にすること」 DVトラウマからの回復ワークブック」2005 レジリエンス著、「デートDVを知っていますか」2005 NPO法人DV防止ながさき発行、「愛する、愛される デートDVをなくす・若者のためのレッスン7」2004 山口のりこ著、「若者のためのデートDV防止プログラム 相手を尊重する関係をつくるために」2003 山口のりこ著、「若い世代における『恋人からの暴力』に関する調査報告書」2007 内閣府、「男女間における暴力に関する調査報告書」2006 内閣府

### 恋人間の暴力「デートDV」

運命の出会いかもしれないけれど…

相手を大切にすることは、言いなりになる/させることではありません

発行:西宮市男女共同参画センター ウェーブ 〒663-8204 西宮市高松町4-8 プレラにしのみや4F

TEL.0798-64-9495 FAX.0798-64-9496 <http://www.nishi.or.jp/homepage/wave/>

イラスト:宮武小鈴 発行日:平成20(2008)年2月

恋人間の暴力  
デートDV

運命の出会いかもしれないけれど…

相手を大切にすることは、言いなりになる/させることではありません



西宮市

# 運命の出会いかもしれないけれど…

## あなたは…

- カレが怒るのは自分のせいだと感じている
- カレがいる前で電話をしたくない
- 自分がどう感じるかよりもカレが怒らないかが基準になっている
- カレに自分の本音は絶対言えない
- どこでだれと会っているのか、いつもカレに報告しなければならない
- 気のすまないことでも、カレの言うことは断われないと感じている
- カレはあなたの携帯を勝手に見て、メールを消したりする
- カレに別れ話をしたら、「お前しかいない」「飛び降りてやる」と言われた
- カレに「ウザイ」「ダサイ」など、あなたのことを見下す言い方をされる
- 心のどこかでいつもカレは怖いと思っている



# あなたとカレ、 こんなことってないですか？

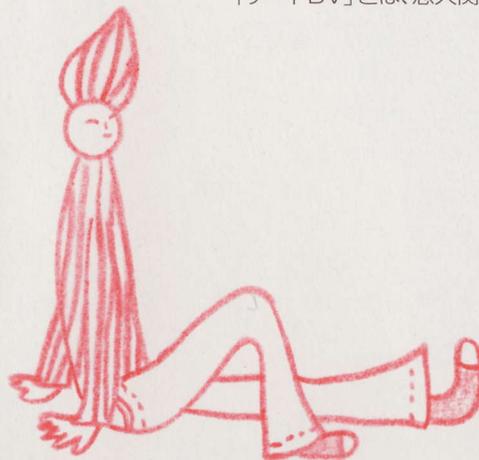
## カレは…

- あなたの髪型や服は、あなたの好みよりカレの好みを優先させる
- あなたに大声をあげたり、突き飛ばしたり、蹴ったり、叩いたことがある
- あなたの大事なものを壊したことがある
- あなたが自分の意見に従わないとイライラしたり、怒ったりする
- あなたに借りたお金を返さない
- 自分のイライラをあなたのせいだと責める
- 自分のことを好きならあなたがいやなことでも「応じるべきだ」と言う
- あなたにひどい言葉をあびせたり、暴力をふるったあと、やさしくなって謝るけど、またしばらくするとひどいことをする
- 「女性はいつも男性の言うことを聞くべきだ」と言っている
- あなたが携帯に出なかったり、メールにすぐ返信しないと怒る



チェック項目はすべて「デートDV」です。

「デートDV」とは、恋人関係の中で起きる“暴力”のことをいいます。



カノジョとカレの会話① カレが最優先？

- 日曜日どうする？ ゲーセン行く？
- 日曜日はD子と部活で使う靴を買いに行く約束をしてるんだ
- 俺たちつきあってんだろ、休みの予定、勝手に決めんなよ
- だって、ずっと前からの約束だし
- 俺と一緒に行けばいいじゃん。部活っていても、お前なんかいなかったってどうってことないんだろ
- そんなことないよ。みんなでがんばって練習してきたし。やっぱりD子と行く
- お前なんか練習したって試合とか出れないでしょ。無駄なことすんな。ゲーセン行くぞ
- わかった…

カノジョとカレの会話② 私のためなの？

- あれ、私の携帯さわった？
- なんで男とメールしてんの？ アドレス消しといたし
- 勝手に見ないでよ。消さなかったっていいじゃない
- 文句あるのか？ 俺がいるのに、ほかの男とつきあいたいわけ
- クラスメートや友だちだよ
- 心配してやってるのがわかんないの。お前のためなんだぞ
- ごめん。でも、クラスの連絡とかも回ってくるし
- お前は世間知らずだから、俺の言う通りにしてればいいんだよ



カノジョとカレの会話① カレが最優先？

●優先順位と「愛」は別です

好きな人といつも一緒にいられたら楽しい。でも、ちょっとまって！ その時々、だれにでも恋人と会うこと以外に優先させたい用事はあるものです。いつでもなんでもカレが最優先っていうわけにはいきません。愛の深さと優先順位は別物。お互いを尊重し合ってこそ、特別な存在になれる、と思いませんか。

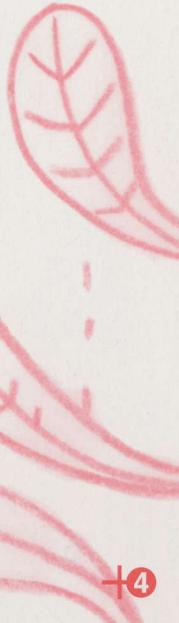
それから「お前なんかいなかったってどうってことない。練習したって無駄」という言葉。自分の思い通りにならないからといって、あなたを侮辱して、自信をなくさせるようなことを言うのも暴力です。カレの言いなりになること、カノジョを言いなりにすることは「愛」ではありません。

カノジョとカレの会話② 私のためなの？

●「お前のため」、実は「自分のため」

カレとあなたの関係でも、プライバシーはお互いに尊重されなければならないものです。いくら親しくても携帯電話を勝手に見ることは許されません。そのうえ、友だちのデータを消されては孤立してしまいます。カレは大切だけど、友だちも大切な存在です。

カレはなぜあなたを困らせることをするの？ 「お前のため」という言葉を聞くと、つい自分のことを心配してくれているんだ、と思いがちです。でも実は、カレ以外の人とあなたにかかわりをもってほしくないと思っている「自分のため」ではないでしょうか。



### カノジョと友人の会話① 独占欲って愛？

- ▲ 日曜日、何時に待ち合わせする？
- ごめん、行けなくなった
- ▲ なんで、ずっと前からの約束だったじゃない
- ほんとにごめん。カレが休みに一緒じゃないと怒るから
- ▲ えーっ、そんなー。けど、しかたないか。愛されてるんだね
- ぎっとな。でも怒ると怖いし、D子にまでやきもち焼かなくてもいいと思うんだけどね
- ▲ そうよね。まあ、それだけカレの愛が深いっていうことじゃない
- ……そうかもね

### カノジョと友人の会話② 束縛って愛？

- カレから、1日に何回も電話やメールが入ってきて、返事しないと機嫌が悪くなるんだ
- ▲ つきあうって、お互いにちょっとはがまんして相手に合わせることでしょ
- でもさ、授業中もバイト中も関係なしに返事できるわけじゃないじゃん
- ▲ ちょっとしつこい？ でも好きなんですよ
- そうだけど、怒らなくてもいいと思わない？
- ▲ でも、束縛するのは愛してる証拠でしょ。怒らさないように上手くやれば
- うん、私が変われば、カレも怒らないのかも
- ▲ がんばれー。カレ、カッコイイし。私もそんなに愛されてみたい



### カノジョと友人の会話① 独占欲って愛？

#### ● 自分勝手は「愛」ではないでしょ

カノジョはノロケているのではありません。なぜなら、友だちよりカレを優先する理由が「カレが怒ると怖い」から。友だちとの約束よりも自分を優先させたり、意味なくやきもちを焼いたりするカレは、カノジョへの「愛が深い」というより、単なるわがまま、自分勝手な人だと思いませんか。

なぜ、カノジョは自分の気持ちよりも、カレの機嫌を気にかけるのでしょうか？ もしかしたら、今までにカノジョは怖い思いをしたことがあるのかもしれませんが。もしあなたが友だちにこのような話をされたら、「愛」という言葉で簡単に済まさないで、カノジョの気持ちをきちんと聞いてあげてください。

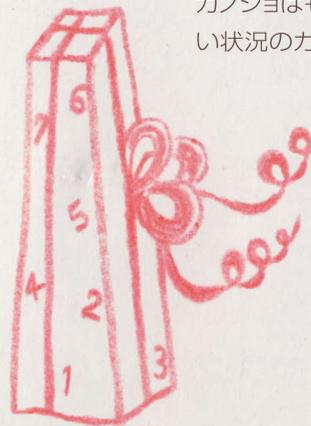
### カノジョと友人の会話② 束縛って愛？

#### ● 「束縛は愛じゃないよ」って教えてあげて

「愛」は相手を大切にすること、相手の自由を制限することが「束縛」。愛と束縛はまったく別なモノです。だから、カレの束縛に困っているカノジョに「私もそんなに愛されてみたい」って言わないで。

「あなたが上手くやればいい」もカレのことで相談したカノジョに絶対言うてはいけない言葉。なぜなら、カレの機嫌をそこねないようにできないカノジョが悪いわけではないからです。それから、「嫌だったら別れたらいいじゃない」も問題あり。簡単に別れられないから悩んでいるのです。

あなたの何気ない言葉でカノジョをさらに傷つけてしまったら、カノジョはもうだれにも相談できないと思ってしまいます。しんどい状況のカノジョを孤立させないことが何より大切です。



# 「怖いこと」「いやなこと」「自分がダメな人間だと思ってしまうこと」全部がデートDVです

暴力は、殴る、蹴る、髪を引っ張るなどの身体的な暴力ではありません。

## 脅し

- 別れ話をすると、「お前しかいない」「飛び降りてやる」などと言う
- 物を壊したり、殴るまねをする
- 「イタイ思いをしたいのか」「がまんしてるのわかるか」などと言う

## 責任転嫁

- 自分が振った暴力を「そんなことぐらい」と軽く言ったり、なかったように振舞う
- 暴力の原因を相手のせいにする

## ばかにする

- 「お前なんか役に立たない」と貶め、無力感をもたせる
- 友だちの前で「こいつダサイ」とか「ウザイ」などと言う
- なんでも自分だけで決めて、従わせる

## 性的な強制

- 拒否すると不機嫌になる
- いやがっているのに、性的なことを強要する

## 孤立させる

- いつでもどこにいるかを監視したり、報告させる
- 友だちとの付き合いや部活などを制限する
- 携帯電話の友だちのメールやアドレスを勝手に削除する

## そのほかにも

- 友だちに秘密をばらすと脅す
- 悪意のあるうわさを流す
- 借りたお金を返さない

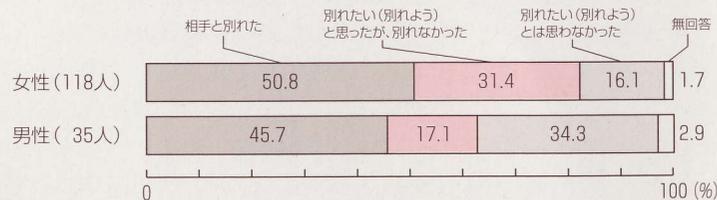
暴力は手段で「支配とコントロール」が目的です。加害者が自分自身の暴力性に気付き、暴力を止めようと決心し、暴力を手放さない限り、暴力が止むことはありません。残念ながら、被害者がいくら努力をしても事態が変わることはないのです。

## 若い世代のデートDVも、大人のDV\*と同様に深刻です

2004年度に「NPO法人DV防止ながさき」が約3200人の大学生と高校生に行った調査によると、女子高校生の10人に1人、女子大生の6人に1人がデートDVの被害を受けています。

### 別れたいと思ったけれど別れなかった女性は3割強

Q 交際相手から被害を受けた後の関係(対象:全国の20歳以上の男女)



暴力を受けたことのある人に「暴力がはじまった時期」を聞いたところ、男女ともに約1割の人が「結婚前」からでした。「別れたいと思ったけれど別れなかった」女性の理由は、1位「相手が別れることに同意しなかった」が半数以上を占め、次いで「繰り返さないと思った」「相手には自分が必要だと思った」と続きます。

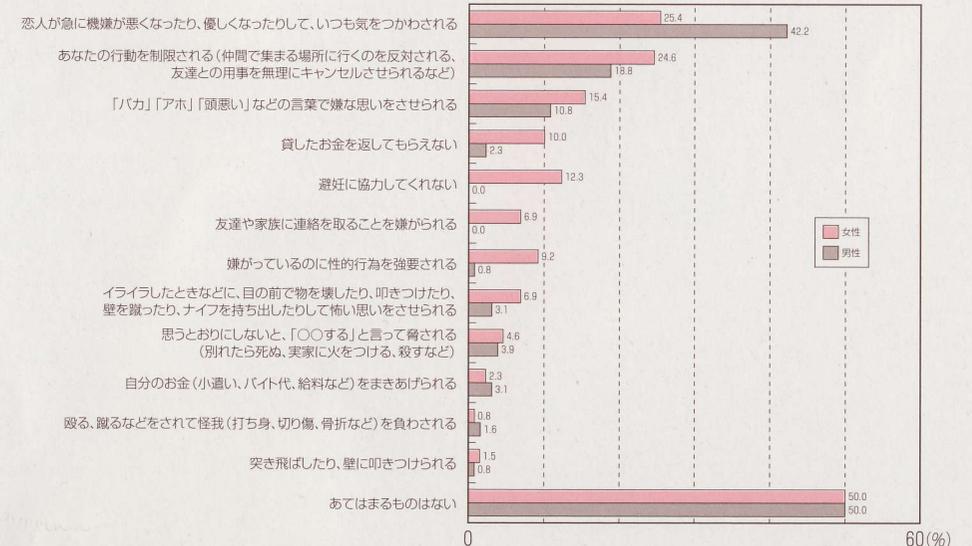
別れ話をきっかけに暴力が一層激しくなるのがDVの特徴のひとつであり、暴力によって心身ともに支配、コントロールされてしまうことがわかります。

\*DV:ドメスティック・バイオレンス。親密な関係、夫婦・恋人間における暴力のこと。国の調査によると、女性の4人に1人がなんらかの暴力を受け、20人に1人が命にかかわる暴力を受けている結果が出ている。2001年DV防止法「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」が施行された。

※資料：2006内閣府男女共同参画局「男女間における暴力に関する調査報告書」

### 男女とも1位は、「恋人が急に機嫌が悪くなったり、優しくなったりして、いつも気をつかわされる」

Q 恋人からされた行為(対象:10・20歳代未婚の男女)



「恋人に暴力を振るっても犯罪にならない」と答えた人は0%。暴力は犯罪であるという認識はあるものの、現実には恋人同士の間でさまざまな暴力が起こっています。男性は「恋人の機嫌にいつも気をつかう」が他の被害よりも圧倒的に多いのに比べ、女性は「避妊に協力してくれ

ない」「嫌がっているのに性的行為を強要される」といった性的な被害や、「貸したお金を返してもらえない」といった経済的な被害も多く、女性のほうがさまざまな形の暴力を受けています。

※資料：2007内閣府男女共同参画局「若い世代における「恋人からの暴力」に関する調査報告書」



—束縛は「愛」じゃない—

## 私も、別れたり逃げたりできないと思っていました

私は付き合っていた相手からの暴力を4年半耐えていました。結婚していませんでしたし、同居もしていませんでしたし、子どももいませんでしたが、私は付き合っている間ずっと別れたり逃げたりすることは不可能だと思っていました。

最初に殴られたのは付き合い始めて10日目ぐらいのことでした。殴られた瞬間、ショックでしたが、相手もショックを受けた様子で「今なぜ殴ったのか自分でもわからない。ふいに手



中島 幸子  
(NPO法人 レジリエンス代表)

DVの被害に遭った経験がきっかけとなり勉強を始め、1991年に米国にて法学博士号取得。2001年ごろからDVについての講演活動を開始。2003年にソーシャルワーク修士号取得。同年、東京で「レジリエンス」を結成。

レジリエンス <http://www.resilience.jp/>

DV体験や支援についての講演や、トラウマを抱えた女性の自尊心を取り戻すための講座、カウンセリングなどを行っている。

レジリエンス (Resilience) とは、英語でいろいろな形の「力」を意味する。回復力、復元力、元気、快活、弾力、反発など。どのような逆境に置かれても、そこから脱する力、マイナスをプラスに変えてゆく力をイメージしたネーミング。

が出てしまった。ごめん」と謝るので許しました。でも、数日後、また些細なことで殴られました。二度目だったので、さすがに私もこういったことは“ふい”ではないと思い、抵抗しました。すると、相手はもっと暴力的になり、私は太刀打ちできませんでした。あまりにもひどい暴力だったので、私の中に大きな恐怖感が芽生えてしまい、相手の機嫌をそこねると、またあのような痛い思いをしなくてはならないと、相手の言うことを何でも聞き入れる毎日が始まりました。

束縛もひどく、ストーカー行為も多かったため、毎日びくびくしていました。相手は私の大学のスケジュールをすべて把握していて、何曜日には何時に授業が終わり、家に着くまで何十分かかる、といったことを知っていて、不意打ちをかけるように時々家に電話をしてきました。その時間に家にいないとひどい目に遭う、ということは何度か経験し、私は毎日授業が終わると必死で帰り、かかってくるかもわからない電話を待機するようになりました。

通学も「バスに乗れ」と言われるとバスに乗り、「自分の車に乗れ」と言われると従っていました。バスに乗ったある日、後ろを見ると相手の車がありました。いつどこから監視されているかがわからず、常におびえてい

ましたし、逃げても無駄だとさらに思い込むようになりました。

付き合っていた間、誰にも相談しませんでした。理由は、このような恐ろしいことを誰も信じてくれないと思いましたが、相談したことがばれてしまったときに、またひどい目に遭うのが怖かったからです。

付き合い始めたころの身体的暴力はひどかったのですが、途中若干減っていたので、相手がやっと変化したと思っていました。しかし、私が少し反論したことによって相手の暴力はまたひどくなりました。「変わったのは相手ではなく、私だった」のです。私が言いなりになっている間は暴力を少し減らしていただけだったのです。この気付きによって、逃げなくては、と思い始めましたが、実際に逃げるまでには半年ほどかかりました。

逃げるときには、学校も警備を強化

し、全面的にサポートしてくれましたし、何より家族のサポートが一番大きいものでした。被害に遭った人は、周りに良き理解者がいることがポイントとなります。家族であれ学校関係者であれ、DVの知識をもち、大変な時期を乗り越えるためのサポートを把握している人の存在こそ大切です。

